

News Letter 2025年5月号

第2回公募開始！オーダーメイド型の設備投資を後押し 中小企業省力化投資補助金(一般型)



経営革新等支援機関推進協議会

CONTENTS

- 1 省力化投資補助金とは
- 2 制度概要
- 3 カタログ注文型と一般型の違い
- 4 活用イメージ
- 5 申請のフロー

① 省力化投資補助金とは

中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするために、人手不足に悩む中小企業等に対して、省力化投資を支援します。これにより、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図り、賃上げにつなげることを目的とする補助金です。

＼一般型第2回公募申請受付中！／

受付開始日	2025年4月25日(金)10:00
申請締切日	2025年5月30日(金)17:00
採択・交付決定日	2025年8月中旬予定



公募回は年3～4回予定
第2回公募以降のスケジュールは随時更新される予定です。

② 制度概要

補助対象

人手不足の中小企業などが、省力化効果のあるオーダーメイド・セミオーダーメイドのある設備やシステムなどを導入し、「労働生産性 年平均成長率4%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象

類型概要

※賃上げ要件を達成した場合、()内の値に補助上限額を引き上げ

補助上限額 従業員数あたり	5人以下:750万円(1,000万円)	6~20人:1,500万円(2,000万円)
	21~50人:3,000万円(4,000万円)	51~100人:5,000万円(6,500万円)
	101人以上:8,000万円(1億円)	
補助率	中小企業1/2、小規模・再生2/3※ ※補助金額1,500万円までは1/2 もしくは2/3 補助金額1,500万円を超える部分は1/3	
基本要件 ※最低賃金引上げ特例適用事業者の場合、①②④のみ	①労働生産性の年平均成長率+4.0%以上増加 ②1人あたり給与支給総額の年平均成長率が事業実施都道府県における最低賃金の直近5年間の年平均成長率以上、又は給与支給総額の年平均成長率+2.0%以上増加 ③事業所内最低賃金が事業実施都道府県における最低賃金+30円以上の水準 ④次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を公表等(従業員21名以上の場合のみ)	

③カタログ注文型と一般型の違い

カタログ注文型

カタログ型は手続きが簡単で、
決まった製品を使う企業様向け

一般型

自由度が高く、より高度な省力化設備を
導入したい企業様向け



簡易で即効性がある
省力化投資

投資内容

オーダーメイド性のある
多様な省力化投資



カタログに掲載された
省力化効果のある汎用製品

補助対象

個別現場の設備や事業内容に
合わせた設備導入・システム構築



最大1,500万円

補助上限

最大1億円



④ 一般型の活用イメージ

カタログに登録されていない省力化設備やオーダーメイド(セミオーダーメイド)の設備・システム等の導入に活用ができます。

業種ごとの 活用イメージ

通信販売事業

オンラインショッピングの顧客数・購買量の増加に対応するため、自動梱包機と倉庫管理システムをオーダーメイドで開発・導入



自動車関連部品製造事業

検査が難しい微細な部品製造を効率的に行うため、現場に合わせ、最新のデジタルカメラやAI技術を活用した自動外観検査装置を導入



⑤ 申請のフロー

① GビズID取得

GビズIDプライムアカウントの取得が必要になりますので事前に準備をお願いします。

② 事業計画書の作成/機械装置・システム等の選定

事業計画書の作成…………… 応募時に提出が必要な事業計画書を作成します。

機械装置・システム等の選定… 人手不足解消に効果があるデジタル技術等を活用した専用設備を選定してください。

③ 応募申請

申請は電子申請システムのみで受け付けます。**申請者自身**が電子申請システム操作マニュアルに従って作業してください。

④ 相見積もり/事業者選定

交付申請手続きの際には、本事業における発注先(海外企業からの調達を行う場合も含む)の選定にあたって、入手価格の妥当性を証明できるよう見積書を取得する必要があります。また、原則として2者以上から同一条件による見積をとることが必要です。

⑤ 交付申請

申請は電子申請システムのみで受け付けます。**申請者自身**が電子申請システム操作マニュアルに従って作業してください。

最後までご覧いただき ありがとうございました

▼▼今回の内容の公的サイトリンクは概要欄へ▼▼



経営革新等支援機関推進協議会